

第11回ESD連続セミナー概要報告

奈良教育大学 大西 浩明

◇実施日時	2023年2月9日(木) 19時～21時
◇方法	ZOOMによるオンライン開催
◇参加者数	24名
◇内容	学習指導案の相互検討④

(1) 奈良教育大学附属中学校：長友紀子先生

中学校2年 美術科「陶硯をつくる 墨を磨る 墨で描く」

自作のにぎり墨と陶硯と使って墨画を描く表現分野の実践

①「握り墨づくり」、②「陶硯制作」、③「墨画制作」の3つの段階

①は1年生の総合で実施済み(全員が墨を持っている) 使わせたい

②陶硯製作では、陶土による造形の面白さ、釉薬の発色などの焼き物の魅力を感じさせたい

③墨の濃淡に見られる色味の美しさを感じさせたい

制作に使用する道具を自分で作ることで、作品を作り出す根源的な面白さを感じられるように

意識的に行動しない限り、自分たちが使っているものを作っている人と接することができない

自分たちが手にしている様々なものは、そこには多くの人や資源が関わっていること実感させたい

墨や硯は奈良の歴史や文化に根差したものは、その背景とともに理解することで自分事化しやすい

墨汁を使い慣れた生徒にとって、墨を磨るという体験を大事にしたい

墨と硯があたる感覚 香料の独特の香り 徐々に表れる墨の色味や艶 光沢の美しさ

五感に働きかけて心を豊かにさせられる

「奈良めぐり」を振り返り、感じたことや考えたことをアイデアスケッチする

→ 絵手紙にする

鑑賞し合う

【意見交流】

- ・硯なんて作れるというのが驚き

美術でESDというのが新鮮

制作物が残っていくというのはいい

- ・ESDの価値観や行動の変容はあったか？

→ 何をもって行動変容と捉えるか、とても難しい

今すぐに表れるものではない

特に、美術などは自己の内面と向き合うもの じわじわと心の中で醸成されるものだと思う

人は五感を通して物を認知している

様々な学びや経験が蓄積されていき、あるとき何かの拍子に脳が意識するのは

- ・表現することはとても重要 授業は教師にとっての表現
- ・1年と2年という総合でのつながり、総合と美術とのつながり
まさにカリキュラムマネジメント
教師が幅広い目で学び全体を意識しておくことがとても重要

(2) 熊本県立菊池高等学校：猿渡瑠里先生

高校1年 商業科ビジネス基礎「身近な地域のビジネス」

都市部以外の地域では、向き合うべき大きな課題として人口減少と少子高齢化が挙げられる

「菊高ジャック」(学園祭) イベントの内容

①スクール婚活

②キクザニア

③菊高ショッピング

それぞれ担当し、ビジネスに必要な見方・考え方の醸成を図るために、市場分析を行わせる。

それぞれのターゲティングが正しかったかを当日の売上(売れ残りや完売商品)などから考えさせる
どのような目的で来場されたのか、当日のお客様アンケートから考えさせる

分析・整理することで、次年度の販売店舗の候補選びの検討材料に

告知期間、告知範囲について3年生の意見をもとに次年度どのように準備すればよいかを考えさせる

市場分析の結果をもとに自他の意見をまとめ、グループとして次年度の販売商品の選定やスクール婚活
やキクザニアなどのイベント企画の内容などについて考える

菊高ジャックが地域社会に及ぼす影響を考える

→ 商業が果たす役割や意義を含んだ視点から地域課題解決と結び付けて考える

まとめたものを発表

→ 菊池市役所職員に生徒たちの地域課題解決学習のまとめや今後の展望について情報共有する

【意見交流】

・ こういう取組の発想はどこから？

→ スクール婚活…少子高齢化という課題は、出会いの場がないから

キクザニア…地域に子どもたちが学べる場所がない

クリエイティブな生徒の発想を実現させる教師の働きがすごい！

・ 課題発見までのプロセスは？

→ 「菊池市にずっと住みたい？ それとも住みたくない？」「住みたくないのはなぜ？」

「〇〇がないから」

「じゃ、あったらいい？」

・ スクール婚活は、これまで実際に結婚された方もいる 今年も2組カップル成立

参加人数が減っている → 増やすために行政と相談して、特典を考えるとかな

・ 「働く」という形での学び 高校における ESD

地域の課題解決に向けて、実際に生徒が社会に働きかけている

マーケティング、ターゲティングなどの市場調査を実施し、データをもとに行動を考えている